

道徳科（人権）学習指導案

1 主 題 自分をみつめて

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

今なお残る部落差別に憤りをもたせるとともに、同和問題を自分自身の問題としてとらえさせ、差別解消に向けた意欲と実践力を育てる。

4 指導計画

『もしも就職するならば？職業ダイヤモンドランキング』（学級活動） 1時間
 『許せない就職差別』（わたしの願い）
 （道徳科，総合的な学習の時間） 3時間
 『部落地名総鑑について』（わたしの願い）
 （道徳科） 1時間
 ・本人の適性や能力に関係なく差別選考されることに憤りをもたせるとともに，すべての人が個々の適性や能力に応じて自らの進路を切り拓くことができるよう，就職差別の解消と公平な社会の実現のために，進んで行動しようとする態度を育てる。

仲間づくり『学級目標をつくろう』
 （学級活動） 1時間
 ・話し合いにより，学級目標を決定することを通して，一人一人がよりよい学級をつくっていかうとする意欲を高める。

人権感覚を磨く
 『人権作文』『人権意見発表会』
 （学級活動） 3時間
 『伝えたいことがある』（道徳科） 1時間
 『背番号15が歩んだ道』（道徳科） 1時間
 『ある日の午後から』（道徳科） 1時間
 『しあわせ』（道徳科） 1時間
 人権座談会 弘瀬理沙さん（学級活動） 1時間
 知の総合化ノートの活用 随時
 ・様々な立場の人の気持ちを考え，自分の生活を振り返ることで，差別や偏見のない社会の実現をめざすために行動しようとする意欲を高める。

『結婚について考えよう』（わたし 出会い 発見 Part2）（学級活動） 1時間
 ・本人の人格や性格よりも職業や社会的地位，出身地などの価値観にとられる風潮が社会に根強くあることに気付かせ，自らの結婚観についてどうあるべきか考えさせる。

『私たち，結婚します!』『こんなん選べる!?!』（部落問題学習の授業ネタ）（学級活動） 2時間
 ・心の弱さが生み出す偏見に気付かせ，その多くが相手のことをよく知らない不安や心配，恐怖からきていることを理解させる。
 ・差別は当事者だけでなく周りの人を巻き込み，すべての人を不幸にすることに気付かせる。

『幸せのカタチ「家」』（わたしの願い）（道徳科） 1時間
 ・かつての「家」制度に焦点を当て，その不合理さに気付かせるとともに，結婚を自分自身の問題としてとらえ，結婚する当人たちの意思が尊重される社会づくりをめざすという意識をもたせる。

自分をみつめて 『峠』（私たちの道徳）（道徳科） 2時間（本時2/2）
 ・今なお残る部落差別に対して憤りをもたせ，同和問題を自分自身の問題としてとらえ，差別解消に向けた態度や実践力を育てる。

『娘の遺してくれたもの』（わたしの願い）（道徳科） 2時間
 ・愛子さんと青年の美しくたくましい生き方から学んだことを，自らの生活に生かし差別解消に向けて行動しようとする態度や実践力を育てる。

